

事業説明会を実施いたします



今年度の最終行事「お楽しみ会」も終わり、梅の花も咲き始め春の到来を感じながら少しほっとしたのつかの間、来年度の事業計画に向け準備に取り組んでいます。

4月より「指定特定相談支援事業」の実施による職員体制・担当の見直し、「障害程度区分」が「障害支援区分」に名称変更されるにともない調査・判定方法の見直し等、毎年制度変更により振り回されています。また、消費税率のアップによる、給食費等個人負担分の値上げも検討しており、ご利用者・ご家族の皆様を対象に事業説明会を実施いたします。合わせて、平成25年12月に受診した第三者評価（結果の公表はまだされておりません）の報告もいたします。

来年度も皆様のニーズに応えていくこと、困りごとなど解決に向け、一緒に考えていくことなど、利用者の方が地域で安心して生活できるよう支援に努めて参りたいと思っております。

お忙しい時期ではありますが、ぜひともご出席ください。京都市伏見障害者デイサービスセンター
事業説明会：平成26年3月18日（火）10:00～11:00 所長 時任 百子



忘年会 マジックショー



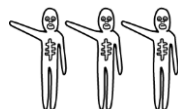
忘年会ではマジックショーと人形劇とコンサートがありました。その中でも私はマジックを見ました。CDの色を変えたり、ハンカチを使って鳥を作り、鳥の鳴き声や動きを真似たりと驚きました。2本の紐を結んで一気に紐をほどく方法を教えてもらい、みんなで実践しました。「わあ！できたよ」と言う人や「難しくてできない」と言う人がいました。実際にやってみて、とても楽しかったです。また、マジックショーの方が40年前の三条駅や京都駅の写真を見せながら昔話をしてくれました。私は昔の三条駅の景色を懐かしく思い出しました。



ウサギ



退所のお知らせ



平成19年度より利用されておりました浦上將太さんが大阪に引っ越しのため、伏見デイを退所されました。約6年半ありがとうございました(^^)音楽が大好きで、活動中は皆さんを盛り上げて下さいました♪外出にもたくさん行きましたね(*^_^*)いつまでもその素敵な笑顔で將太さんらしく大阪でも元気いっぱい過ごして下さい\(^o^)/



あーがと、ね。



平成24年度より利用されておりました竹田華澄さんが家庭の都合により他施設利用となりました。約2年間ありがとうございました(^^)楽器を演奏することが得意で、いつもリズムに合わせて楽器を鳴らしておられましたね(^u^)これからも笑顔が素敵な華澄さんでいて下さい(^^)♪

～26年度 上半期予定～

4月	新年度開始	7月	夏レク
5月	春レク	8月	夏レク
6月	春レク	9月	秋レク

～編集後記～

今回の機関紙より記事の内容を変更させて頂きました(*^_^*)1年を振り返ってみると、今年度もたくさんの思い出ができました！次回も楽しい機関紙になりますように\(^o^)/ (美濃)



たんぱはしたより

～第35号 26年3月発行～

京都市伏見障害者デイサービスセンター
発行責任者 時任百子
〒612-8318
京都市伏見区紙子屋町544
TEL(075)693-1290
FAX(075)603-1292
http://www.normanet.ne.jp/~fusimids/
Email f-days@kyofc.or.jp

特定相談支援事業実施について

平成26年度4月より京都市伏見障害者デイサービスセンターでは「特定相談支援事業」を実施することとなりました。「特定相談支援事業」とは平成24年施行の「障害者総合支援法」により障害福祉サービスを利用される全ての方に「サービス等利用計画」の作成が必要となりました。

「サービス等利用計画」とは、様々な障害福祉サービスの組み合わせについて検討し作成されるものです。これまで作成されてきた伏見デイサービスセンターの「個別支援計画書」とは異なり、日中以外の支援や土曜、日曜、祝日の支援といった部分に至る総合的な支援計画となります。

この「サービス等利用計画」は障害福祉サービスの支給決定を行う際に用いられます。これは、障害・保健・医療等の各種サービスを計画的に有効利用し、生活の質のさらに向上を支援する事を目的にしています。

京都市では現在お持ちの福祉サービス受給者証の更新時期にあたる方から順次実施していく方針が打ち出されました。

その動向に合わせて京都市伏見障害者デイサービスセンターでも、「特定相談支援事業」を実施する運びとなりました。「特定相談支援事業」ではこれまでのサービスを引き続き、または新たに福祉サービスを利用したいと考えておられる方に相談支援専門員が訪問等を行い、本人並びにご家族の意向を伺い、必要に応じた計画を立てる事となります。また立てられた計画を基に様々なサービス機関との折衝を経てご本人並びにご家族の理解の上、福祉サービスの利用につながる支援を行います。また一定期間経過の後、それら福祉サービスが実際にご本人並びにご家族の意向を満たしているかの随時計画の見直しも行います。

しかしながら問題も多く、利用が必要である方への広報・周知不足は否めず、制度をよく理解できないままでは上手く使いこなせない、またはご不便に感じられる方も出るのではないかと危惧しています。またそれらの不安を解消し、利用される方に安心して相談支援を利用して頂けるよう業務に従事する相談支援専門員の数が圧倒的に少ない事という現実もあります。

これには実施を急ぐあまり相談支援専門員の不足を考慮せず制度を押し進めている為でもあります。同様に相談支援専門員を抱える事業所の数も少ないのが現状で、これには介護保険制度下でのケアマネージャーの様に毎月安定した収入がなく現状では相談支援専門員の人件費を賄うことが出来ないという背景もあります。

京都市伏見障害者デイサービスセンターではそういった問題点の改善を実践する中でこの制度が充実したものになる様行政にも働きかけを行い、支援では個々のサービスが途切れる事なく、利用される方の福利(ウェルビーイング)の増進に取り組んでいきたいと思っております。ご不明な点またはご相談等がありましたら、お気軽にお問い合わせください。

京都市伏見障害者デイサービスセンター(指定特定相談事業)

茗荷 真



私の年末年始

家族でそばを食べました♡おせちを食べました。お正月にお年玉をもらいました。お母さんからもらいました。おばあさんにももらいました。紅白を見ました。嵐も歌っていました。いろいろな人がいました。その後もテレビを見ました。コンサートみたいなテレビを見ていました。キンキキッズも出ていました。紅白は12時に終わりました。これからもディで頑張ります。

今西奈津子



成人おめでとうございます

20



藤田理絵さんへ
成人 おめでとうございます。
毎日にここに元気いっぱいいてくれて、ありがとうね。
20年間の中で入学、卒業、入院、退院、花見、ドライブといろいろありましたね。家の中でも泣いたり、笑ったりでころころ顔の変化をたくさん見せてくれました。
これからもたくさんの人と仲良く笑顔で過ごして下さい。パパ・ママより



竹田華澄さんへ
成人おめでとう！

華澄ももう20歳。何か信じられないです。いつまでも小さい頃の華澄のような気がします。いつも笑顔がかわいく、笑った顔で周りを笑顔にしてくれますね。学校を卒業してからディに行くようになり、すごく自分の気持ちを表現してくれるようになりました。大人になっても、今のままかわいい華澄でいて下さいネ！！
これからの成長もまた楽しみにしていきたいです♪ 母より



宮島裕一さんへ
今日は少し息子への思いとありがとうを書きたいと思います。
裕一、20歳本当におめでとう！
私が生きていることは息子を産んだから・・・
息子は産まれる前から親孝行をしてくれたこと
障がいがあっても私の子どもに産まれて来てくれてありがとう。
私を親にしてくれたことに感謝でいっぱいです。
これからも親子で仲良く、楽しく人生を過ごしていこうね。 母より
(一部抜粋しています)

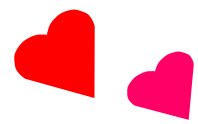


～伏見ディへ仲間入り～

伏見ディへようこそ 瀧川 弘子さん
平成25年8月より利用開始となりました\(^o^)/
だんご三兄弟とドライブが大好きです♪
これからよろしくお願ひします(*^_^*)



秋の外出



去年の11月5日に信楽陶器焼き、大小屋へ行ってきました。車で信楽に入っていくと、あちらこちらにタヌキの置物が置いてありました。「さすが陶芸の町だなあ」と思いました。大小屋に到着して陶芸をし、私は小鉢を作りました。作った小鉢は小物入れにしました。粘土を触ってみて気持ち良かったです。昼食をとってからお土産物屋さんに行きました。何も買わなかったのですが、可愛い陶器の置物と食器などが並んでいました。見ているだけで楽しめました。時間があつたので車でカフェなどを探しましたが見つからず、コンビニに寄ってジュースを買ってセンターへ帰ってきました。充実した一日となりました。 プーさん



SST プログラム

～目的～「自分らしい暮らしを自ら選択し、実現していく」
目的をもとに利用者さんが中心になり計画を立て、第一弾はカラオケ外出を行いました。一人一人「自分たちで行動するんだ」という意識が強くなり、積極的に行動されていました。もちろん現地でも十二分に楽しまれていました。今後も継続して支援し、充実した活動にしていきたいと思ひます。(奈佐)

～目的～ 「日々の変化を大切に」

四季折々の風景、におい、温度感等を感じてもらえるように外出を主体として取り組み、体感的に変化を感じてもらいながら利用者の方に喜んでいただける事ができたと思ひます。テイルーム内では大きなスクリーンを用いて、ちょっとしたコンサート気分や映画館のような雰囲気楽しんでいただけている様子がたくさん見られました。(大久保)



療育プログラム



運動プログラム

～目的～「身体の機能維持・向上を目指し、より充実した日常生活を送る」
身体プログラムでは有資格者やリハビリテーションセンターからの助言を仰ぎ、マニュアルを作成しました。マニュアルを基に職員と利用者様とが一緒に、歩行練習や階段昇降、身体のストレッチやマッサージなどを行い、身体機能の維持・向上を目指しています。(畑谷)



伏見ディの平成 25年度は、「プログラム内容を充実させ、さらに発展させる」を目標にスタートしました。障がいの多様化と重度化により、さらなる個別対応や個別支援が必要となってきた状況もある中、支援者のスキル向上・人材の育成は明確な課題、早急に取り組むべき課題でした。そこで、本年度は、療育・運動・SST と3つの大きなプログラムに重点を置き、随時 OJT を実施しながら、目標達成に向かって取り組みを始めました。

療育プログラムでは、日常の生活に緩急を感じられる活動を中心に、運動プログラムでは、有資格者中心のプログラムを展開させ、専門的かつ継続的にアプローチを実施しました。SST プログラムでは本人が感じている生活のしづらさをリカバリーする場となるアプローチを実施しました。

そのプログラムを通して、利用者の方のいきいきした顔や誇らしげな顔、自分から何かをしようと意気込んでいる顔を見ていると、自分の行動で自分が、また周りが変わると思えることが、その人の人生にとってどんなに大事なことかと改めて気づかされました。

私たち周りにいる支援者は、その人を理解し、何ができて何が得意で何が苦手とどの環境ならできるのかなど考え、達成する喜びを感じてもらえるように学習し、一緒にチャレンジを続けていきたいと思ひます。一人ひとりがこころよい時間をすごせるよう、プログラムのさらなる発展を目指して精進してまいります。サービス管理責任者 山内 紀子

